

7月臨時会

新型コロナウイルス対策・新しい生活様式にかかる支援策

主な事業

事業者支援

- **小規模事業者支援拡充**
10万円給付基準引き下げ(売上減少率50%から20%へ)
- **農業支援拡充**
資機材・種苗購入費助成等(補助率1/3から1/2へ)
- **地域公共交通対策**
公共交通事業者への支援
- **花農家経営支援**
市内産の花を購入し、公共施設、医療機関、福祉施設等へ配布

世帯支援

- **給食費補助**
3月以降の保護者負担が生じる給食費を補助
- **生活福祉資金特例貸付借入者支援**
生活福祉資金特例借入を行っている世帯へ5万円給付
- **新生児支援**
国の特別定額給付金対象から外れている新生児へ同額支給
- **里帰り困難妊産婦支援**
民間育児支援サービス等利用費補助

従事者支援

- **保育業務等従事者支援**
保育業務等に従事する者に慰労金支給

感染症対策・新しい生活様式

- **医療機関助成**
発熱外来対応の市内医療機関を助成
- **感染拡大防止対策**
備蓄マスク補填、PCR検査用テント・防護服等購入
- **休日夜間等救急医療/小児救急医療強化**
感染症対策強化のため消耗品購入や備品整備
- **キャッシュレス決済推進**
市内店舗(大手含まず)等でキャッシュレス決済によるポイント還元キャンペーン実施
- **避難所感染症対策**
簡易ベッド等感染症対策備品購入
- **小中学校遠隔学習環境整備**
児童生徒一人一台のタブレット端末整備

6月12日に成立した国の第2号補正予算で拡充された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを活用し、引き続き市民生活や地域経済へのより一層の対策を講じるため、事業継続や雇用維持、そして「新しい生活様式」をふまえた独自の支援策のうち、早急に事業着手する必要があるものについて、7月17日に臨時議会が開かれ、賛成多数により可決しました。

※詳細は市ホームページをご参照ください。



さくら会視察 明神橋災害復旧工事現場

昨年秋の台風及び大雨では、市内各所で河川の氾濫やがけ崩れが発生し、住宅や道路などのインフラに甚大な被害がもたらされました。市は、国の補助制度を活用するなどその財源確保に努め、鋭意、復旧工事をすすめているところです。

の完了に向けた工事が進められることとなりました。さくら会は、この現場を視察し、自然災害がもたらす被害の大きさを再確認するとともに、執行部に対して改めて災害に強いインフラ整備を強く要請しました。

特に、ちばりサーチパーク内の明神橋については、高さ15mの道路のり面が、橋台部分を含め約40mにわたり崩壊。今6月定例会で復旧工事の契約が可決されたことから、契約金額約2億4,500万円にて令和4年2月末



5月臨時会

市議会議長に 為田 浩 議員 副議長に 平野 裕子 議員 が就任

佐倉市議会5月臨時会が5月15日に開かれ、議長・副議長を選出いたしました。このほか、常任委員、議会運営委員が新しく選出されました。



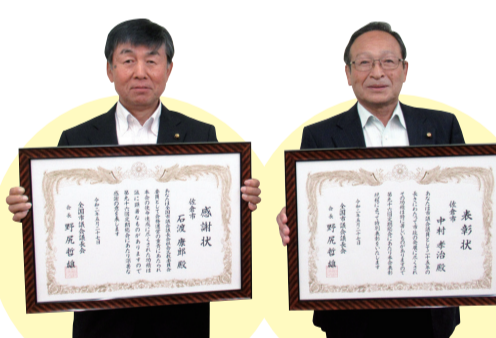
為田 浩 議長 平成23年4月初当選以来、連続3期目。この間、副議長、建設常任委員長などを務める。

平野 裕子 副議長 平成19年4月初当選以来、3期目。この間、経済環境常任委員長、総務常任委員長などを務める。

各常任委員会等

総務常任委員会	◎石渡康郎 為田 浩 岡野 敦
文教福祉常任委員会	◎高木大輔 密本成章
経済環境常任委員会	○斎藤明美 中村孝治
建設常任委員会	◎敷根文裕 ○櫻井道明 平野裕子
議会運営委員会	◎中村孝治 高木大輔 岡野 敦 密本成章
広報公聴委員会	◎高木大輔 ○斎藤明美 岡野 敦 密本成章
議会改革推進委員会	中村孝治 敷根文裕

※◎委員長、○副委員長



感謝状 石渡 康郎 議員 社会文教委員としての功績に対し、全国市議会議長会から感謝状が贈られました。

表彰 特別表彰 議員在籍25年 中村 孝治 議員 地方自治の伸張、発展と市政の向上、振興に貢献された功績に対し、全国市議会議長会から表彰されました。

8月の議会

議会を傍聴してみませんか

議会運営委員会	8月18日(火)
招集日	8月24日(月)午後1時から
一般質問	8月31日(月)~9月3日(木)
常任委員会	9月7日(月)~9月10日(木)
決算審査特別委員会	9月14日(月)~9月17日(木)
最終日	9月23日(水)午後1時から

日程は変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。
【議会事務局】
☎484-6279



ケーブルネット296では、初日・一般質問・最終日の模様を翌日午後5時30分から放送します(地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル)

佐倉市議会 さくら会

議会だより

2020 Autumn 令和2年初秋号

【さくら会ホームページ】



sakura-sakurakai.jimdofree.com

市からの情報発信

緊急・災害時等 新型コロナウイルス

「6月定例議会」敷根 文裕議員 代表質問

問 佐倉市新型コロナウイルス感染症対策本部が設置されてから国や県の対応や、市中の感染状況、佐倉市独自の支援制度など、市民に伝える情報も日々変化し、その情報の重要性、緊急性も千差万別であったかと推察いたします。このような非常時に最も重要なのは、正確な情報の発信と伝達です。欲しい情報が届かないと、市民の不安は大きくなります。正確な情報をいかに市民に届けるかという観点から、伝達体制と手順が大切です。ホームページに記載したという話はよく聞くが生活困窮者やホームページなどが見られない方に対して、広報公聴を漏れなく行うために、市はどのような取り組みをしたのか伺います。

答 ホームページやSNSで情報を確認できない方のために、広報紙を公共施設のほか、市内の駅や大型商業施設、災害時の物資供給に関する協定を締結しているセブンイレブンでも配布しています。また、広報紙の臨時号の発行に加え、防災行政無線や広報車により、市内全域への情報発信に努めたところです。

意見 きちんと情報が届いていれば相談に来た市民、事業者に迅速かつ適切な案内や融資ができたというケースも考えられます。一例として挙げると民間金融機関等が市の独自制度について把握してなかったケースもあります。広報やホームページに掲載したから足りているとは決して考えずに、情報の内容によっては、ターゲットにしっかりと届くよう、対象者の数によって個別の通知など適切な周知方法をとってください。

STAY HOME



議員 岡野 敦 議員 斎藤明美 議員 高木大輔 副議長 平野裕子 議員 石渡康郎 会長 中村孝治 幹事長 櫻井道明 議長 為田 浩 議員 敷根文裕 議員 密本成章

未来へつなぐ

佐倉市議会 さくら会

「さくら会」は、地方分権が進む中で、議員の倫理及び資質を高めて、佐倉市議会のより一層の充実を図るとともに、快適で安全な佐倉市を創ることを目的とする。

「さくら会会則第3条」

ほかの質問は中面をご覧ください



敷根 文裕 議員

議会動画はコチラ



【6月定例議会】代表質問

新型コロナウイルス感染症対策について



①税制上の救済措置について

問 多くの市民生活に影響を与えているが、市税に関し、税制上の救済措置が講じられるのか伺います。

答 徴収猶予特例について申請受付を開始、固定資産税の軽減措置などがあります。関係機関と連携を図り、納税者を支援していきます。

②国民健康保険加入者への支援について

問 国民健康保険加入者は個人事業主やパートタイムの方々が多いですが、事業縮小や休業により経済的負担が大きくなってきています。市はどのように対策をしていくのか伺います。

答 国民健康保険加入者には傷病手当金支給と保険税減免があります。減免は前年より収入が一定以上減少した場合適用されますので、以上の内容を案内していきます。

③児童生徒の学習支援について

問 千葉県教育庁はICTを活用し、オンライン学習が出来るよう民間学習支援ソフトの導入に助成する事を決めました。佐倉市はこの助成金を活用しますか？

答 学習支援ソフトは効果があるものと認識しています。助成金を活用して導入し、小中学校の学習環境を整備していきます。

災害復旧について



問 昨年の台風による被害復旧状況や、農家の皆様への対応について現在どのようになっているか伺います。

答 道路復旧は16箇所のうち、現在8箇所の工事を進めています。農家からの申請は、ほぼ審査要件を満たすものとして審査を終えています。速やかに補助金を支出できるように努めていきます。

契約事務について



問 行政監査報告において随意契約の手続きの誤りについて多く指摘がありました。契約事務の総括を行う契約検査室としての対応を伺います。

答 随意契約チェックリストを作成し、今後事務手続きが適正に行われるよう支援していきます。

問 一般競争入札において最低制限価格制度の金額を引き上げてから、くじ引きによる決定が3倍にもなりました。今年度実施予定の対策を伺います。

答 入札予定価格の事前公表から事後公表への変更、入札事務の見直し、職員研修なども行っています。

敷根 文裕 議員

【2月定例議会】個人質問

議会動画はコチラ



医療資器材の備蓄と配布について



問 今後のために、マスクや消毒用アルコール等医療資器材の備蓄を、学校施設や高齢者施設、妊婦などに対し確認し、足りなければ市から事業者等に協力を求め、確保・配布などの対応をとるべきではないかと思えます。市の考えを伺います。

答 確保して参ります。また市民の皆様に対してマスクは、佐倉市社会福祉施設協議会を通じまして約29,000枚ほど配布しました。

意見 民間事業者さんからたくさん寄付を頂きました。協力して下さったことをホームページや新聞等で発信してください。

実際に市のホームページや新聞に掲載される事となりました
www.city.sakura.lg.jp/0000026769.html



市内の土地活用について



問 印旛沼周辺の水辺の土地、使われていない市有地の森、自然公園が多数あります。このような土地が、市の財源と地域のボランティアで管理維持されている状態で、これから先の維持が困難です。P-PFI（公募設置管理制度）の一環として民間資金の活用と市民の皆様への活用を促していくべきと思いますが、どのようにお考えでしょうか？

答 土地管理負担の削減、市民に喜ばれる地域資源の開発は非常に有効であると考えます。昨年ご提案がありましたサウンディング型市場調査と併せ、管理経費の削減、NPOやボランティアとの連携について研究して参ります。



高木 大輔 議員

議会動画はコチラ



【2月定例議会】代表質問

市長の政治姿勢



問 令和2年度当初予算の概要について、市長が考えるまちづくりの方針や来年度初年度に当たる第5次佐倉市総合計画における将来都市像「笑顔輝き 佐倉咲く みんなで創ろう『健康・安心・未来都市』」が実現できる内容となっているのか伺います。

答 当初予算では、初めて500億円を超え、過去最大となりました。特徴としては、前年度と比べ、歳入では国県支出金や市債等の増に対し、財政調整基金からの繰入金約11億8千万円減。歳出では、会計年度任用職員制度による人件費や幼児教育・保育の無償化に伴う社会保障関係の扶助費が増加、義務的経費は約18億8千万円増。普通建設事業費は、教育施設や災害復旧関連の整備事業などの増加により、約14億9千万円増。主な事業は、集中豪雨による浸水被害に対応するための河川関連施設改修事業などで、市民の皆さまの安全安心な暮らしを確保します。新規事業としては、65歳以上の方に安全運転装置の購入費用の一部を助成、公立保育園で使用済みおむつの回収処分を始めています。そして、昨年大雨により崩壊したのり面や道路、橋梁等の復旧工事等の災害対応のほか、(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設の建築工事や東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ交流振興事業、定住人口増加と空き家の利活用を図る住生活基本計画推進事業等を計上。これらの取り組みを着実に進め、将来都市像の実現を目指していきたいです。

第6次佐倉市行政改革について



問 行政改革とは、一般的に業務効率化や歳出の削減を目的として実施するものであると考えますが、来年度から佐倉市で実施する第6次佐倉市行政改革においては、どのような施策を展開していこうとお考えでしょうか。

答 第6次佐倉市行政改革では、財源を確保する「量の改革」、業務の生産性向上を図る「質の改革」、地域経済の向上を図る「市全体の取組みによる改革」の3項目を基本目標に

掲げ、業務の効率化とサービスの向上を図り、計画期間の4年間で20億円の効果額を得ることを目標として、本年度中に行政改革大綱を策定していきます。具体的な施策は、大綱策定後に個々の施策を担当する部署と協議を行い決定することになります。量の改革における施策の一例を申し上げますと、最小限の人員で業務を遂行できる手法を検討し、適正な人員配置により人件費の抑制を行う一方で、緊急性や重要性が高い業務には重点的に人的資源を投入できるような体制を構築していきます。このような施策実現のため、第6次佐倉市行政改革の実施計画においては、民間活力を利用した市民サービスの向上、ICTを活用した事務の合理化や省力化などの施策を展開してまいります。

佐倉図書館等新町活性化複合施設整備事業について



問 来年度、工事はいつ頃から着手し、いつ頃の完成を予定しているのか、本事業全体のスケジュールについて示してください。次に、今議会において令和2年度の当初予算案が提出されていますが、この事業の総額はいくらを見込んでいるのか、お答えください。

答 (仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設整備事業については、現在、設計業務を進めており、今年度末までには完了する見通しです。また、今後の工事については、建設工事に係る契約手続きを行い、今年10月中旬を目途に、着工する予定です。その後、工事を進め、令和4年の9月末日を目途に工事を完成させる方針。工事完了後、書架など備品の設置、引越し作業及び図書配架作業など諸準備を行い、令和5年3月末日までに開館する予定です。事業費の総額については、約37億5,000万円を見込んでいます。

意見 西田市長が就任後、台風被害、新型コロナウイルス感染症と、過去に経験したこともない事態が起きています。西田市長の掲げる「オール佐倉」で、国・県・近隣自治体・地元企業・医療機関などと連携し、市民の皆様生命と財産を守り、文化面においても、議会で議決された、(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設整備事業を推進し、誰もが、安心して安全なまちづくりを、議員一丸となって実現して参ります。



岡野 敦 議員

議会動画はコチラ



【2月定例議会】個人質問

市政におけるリスクマネジメント



問 市政を取り巻く様々なリスクに対し、組織態勢や対応策を整えていく取り組みや、リスクを組織的に管理(マネジメント)する仕組み・仕掛け作りが必要だと思います。基本的方針、財政リスクについて伺います。

答 内部統制の動向を注視し、内部統制によるリスクマネジメントの取組について研究して参ります。適正な規模で財政規律を堅持して、持続可能な財政運営をしていきます。

意見 持続可能な財政運営を求めます。

問 組織マネジメントとして職員の不祥事、情報漏えい、反社会的勢力、人権侵害、ハラスメントなどのマネジメントの状況についてお答えください。

答 全職員を対象とした自己点検、連絡相談窓口を設置し、職員や市民からの相談を受けることのできる体制を整備しています。

意見 時代の変化に対応する内部統制をしていただきたいです。



会派の意見

6月議会

新型コロナウイルス感染症対策においては、緊急事態宣言の解除、そして様々な市民活動が徐々に再開されるなか、国内における感染者数は増加に転じ、本市においても6月30日、約2か月ぶりに新たな感染者が確認されており、楽観視できる状況にはないものと認識しています。市民の健康や生活を守るために必要な対策の充実が強く求められています。6月12日に成立した国の2号補正予算には、地方自治体が新型コロナウイルス対策を強力に

住んでよかったと思えるまちづくり

問 佐倉ふるさと広場、草ぶえの丘、サンセットヒルズオートキャンプ場、岩名運動公園、美術館、歴博、音楽ホール等の市民が訪れたい主要スポット各施設間を回遊(周遊)する交通アクセス施策について伺います。

答 第2次佐倉市地域公共交通網形成計画に位置づけたまちづくりと連携して今後検討していきます。

意見 他市の先進事例等を参考に取組んでいただきたいです。

問 小出義雄記念陸上競技場、長嶋茂雄記念岩名球場を活用した佐倉らしい取組施策についてはありますか。

答 全国規模のPR力を持つ施設になるものと認識していますので、両氏と佐倉市のかかわり等を大いにPRしていく予定です。

意見 商工会議所や観光協会等関係団体と連携し、キャンペーン施策の立案、観光案内の充実などを期待しています。

問 資金源や財務報告事務に悩むNPO法人への市としての対応についてお答えください。

答 市民公益活動サポートセンターにおいて様々な支援をしています。

意見 寄付金控除等税制上の優遇措置が適用される活動資金の調達において、メリットがある認定NPO法人への積極的な移行支援などをしていただきたいです。

進めるために必要な地方創生臨時交付金の拡充も含まれており、当該交付金を活用した独自支援策の早期実施が待たれるところです。コロナ渦の長期化に伴い市民の生活様式や意識が変化することで、新たな課題も顕在化してくるものと考えます。市においては、市民や市内事業者の実情を的確に捉え、市民等が真に必要なとしている支援策を迅速に講ずることを改めて求めています。

